科目名 哲学・倫理学 英文表記 平成27年2月20日 Philosophy and Ethics 科目コード 6004 教員名:青木久美 作成 技術職員名: 単位数 対象学科/専攻コース 履修·学修 授業形態 | 授業期間 学年 **必 選** 全学科 学修 2単位 後期 西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違いなどについて説明できるようになる。 哲学や倫理学の諸問題、哲学の根本問題などについて考えられるようになる。 哲学者の思想や諸宗教の思想に触れ、人間とはどのような存在であると考えられてきたかについて理解するとともに、自分 科日日標 が人としていかに生きるべきかなど、自分の生き方や自分の人生について考えることができるようになる。 $[\Pi - C][M - B][M - F]$ 学年評価は以下の通りである。 総合評価 発表25%, レポート55%、ディスカッションでの発言や参加態度20% ルーブリック 達成度目標の 目標 科目達成度目標 理想的か 標準的な 最低限必要な 割合 評価方法 到達レベル(良) 到達レベル(傷) 到達レベル(可) 西洋における世界観 西洋における世界観 西洋における世界観 西洋における世界観 の変遷、東洋思想と 西洋思想の違い、東 の変遷、東洋思想と の変遷、東洋思想と の変遷、東洋思想と 西洋思想の違い、東 洋思想と西洋思想の 西洋思想の違い、東 西洋思想の違い、東 洋思想と西洋思想の 融合などについて理 洋思想と西洋思想の 洋思想と西洋思想の 課題によって評価 80% (1) 融合などについて理 解し、自分の考えも 融合などについて理 融合などについて理 する。 解し、説明することが 解し、論理的に説明 解し、説明することが 交えながら、論理的 できるようになる。 に説明することがで することができるよう できるようになる。 (機A-1,情A-1,メC-きるようになる。(機 になる。(機A-1,情 (機A-1,情A-1,メC-1,生-2) A-1, 情A-1,メC-1,生 A-1,メC-1,生-2) 1,生-2) -2) 哲学や倫理学の諸 哲学や倫理学の諸 問題につい考え、自 問題について考え 哲学や倫理学の諸 目 自説を述べることが 説を論理的に説明で 問題について考え、 達 哲学や倫理学の諸 きるようになる。また できるようになる。ま 自説を述べることが 課題や討論への 問題について考える 成 他者の意見を尊重 た他者の意見を尊重 できるようになる。ま 参加によって評価 2 ことができるようにな 20% 度 し、異なる意見によっ し、異なる意見によっ た他者の意見を尊重 る。(機A−1, 情A−1,メ する。 て自説を発展させる 目 て自説を発展させる することができるよう C-1.生-2) 標 ことができるようにな ことができるようにな になる。(機A-1,情 る。(機A-1, 情A-1,メる。(機A-1, 情A-1,メ A-1,メC-1,生-2) C-1,生-2) C-1,生-2) 自分の生き方や人生 自分の生き方や人生 自分の生き方や人生 の意味について深く の意味について理解 の意味について考え 自分の生き方や人生 理解することができ することができるよう ることができるように の意味について考え 発表や討論への参 るようになる。また他 になる。また他者の なる。また他者の生 ることができるように 加によって評価す 者の生き方や価値観 生き方や価値観を草 き方や価値観を尊重 なる。(機A-1, 情A-る。 を尊重することがで 重することができるよ することができるよう きるようになる。(機 1,メC-1,生-2) になる。(機A-1,情 うになる。(機A-1,情 A-1, 情A-1,メC-1,生 A-1.メC-1.生-2) A-1.メC-1.生-2) 2 3 4 本科·専攻科 教育目標 \bigcirc 0 評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合 目標との関連 | 定期試験 | 小テスト | レポート | tの間(演音展題: | 総合評価 セルフチェック 評価項目 60 40 100 基礎的理解 25 85 応用力(実践·専門·融合) 15 15 社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL O 主体的 · 継続的学修意欲 0 **技未恢安**: 課題を出します 方針、履修 学期の終わりには自分史を書いてシェアしていただきます。

上の注意 期末試験は行いません。討論への参加、授業中の発表、課題によって評価します。

教 和 教	書・	「哲	学の記	迷」野ź	天茂樹著	(講談社	土現代新書)				
软	าช										
週		授	業	項	目	時間	授業内容	自学自習 (予習·復 習)内容	セル フェッ ク		
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12				**********							
13											
14											
15 期末						-					
16	イ	ントロ	ダクシ	ヨン、	哲学、	2	授業の進め方の説明、仏教の基礎【Ⅲ-C】	課題、討論に備える			
17 18			⊈字、ſ 哲学・ſ	/ョン、 倫理学 倫理学	<u>:</u> !	2	西洋哲学史(古代)【Ⅲ-C】 西洋の宗教史【Ⅲ-C】	課題、討論に備える課題、討論に備える	 		
19		#	近今.	シェニ ウェ		2	西洋哲学史(中世から近代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	 		
20			哲	学 型		2	哲学の根本問題(心とからだの関係)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える			
21 22			哲哲	子 学		2	哲学の根本問題(意識と実在など)【Ⅲ-C】【∭-B】【∭-E】 哲学の根本問題(私的体験など)【∭-B】【∭-E】	課題、討論に備える 課題、討論に備える	 		
23			哲			2	哲学の根本問題(自由と規範、言葉と経験など)【狐-B】【狐-E】	課題、討論に備える			
24 25		-	哲 近学。	字 血理学		2	発表(哲学の根本問題))【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】 西洋・日本哲学史(近・現代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える 課題、討論に備える			
26			心理	┉ ユナ 里学		2	意識と無意識、心理学の4つの勢力【Ⅲ-C】	課題、討論に備える			
27		······	哲纸	学 _全		2	西洋哲学史(現代)【皿-C】 供える音味の美容【皿-C】	課題、討論に備える、発表準備 音甲型百 章+=全1-1/45-7 Z			
28 29						2 2 2	生きる意味の考察【Ⅲ-C】 自分史発表【Ⅲ-C】	課題、討論に備える 課題、討論に備える、	 		
30		1	哲学∙作	侖理学			西洋哲学史(現代)【Ⅲ-C】	発表準備			
期末			期末		连眼之到	[2]	実時間	22.5			
学習時間合計 30 実時間 22.5 自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証) 標準的所用時間(試行)											

1	課題に沿ったレポートを作成する	各2時間×10回
2	討論準備	各2時間×15回
3	発表準備	10時間

(モデルコアカリキュラム)
・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。

▲ 学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)